



## 2012年度第2四半期 連結業績の概要

経営管理部長 高原 宏

2012年10月31日

武田薬品工業株式会社

## 2012年度第2四半期 連結業績



	11年度	12年度	対前期増減		為替影響除き
	4-9月実績 (億円)	4-9月実績 (億円)	(億円)	(%)	(億円)
売上高	7,025	7,869	+ 844	< +12.0>	+ 887
売上総利益	5,429	5,709	+ 279	< +5.1>	+ 322
特殊要因(*1)除き	5,429	5,731	+ 302	< +5.6>	+ 344
一般管理販売費	2,129	3,076	+ 947	< +44.5>	+ 975
特殊要因(*2)除き	1,820	2,408	+ 588	< +32.3>	+ 616
研究開発費	1,190	1,547	+ 357	< +30.0>	+ 360
営業利益	2,110	1,086	Δ 1,025	< Δ48.6>	Δ 1,014
特殊要因(*3)除き	2,421	1,777	Δ 644	< Δ26.6>	Δ 632
経常利益	2,096	1,131	Δ 965	< Δ46.0>	Δ 954
特別損益	—	172	+ 172	—	+ 172
純利益	1,357	1,198	Δ 159	< Δ11.7>	Δ 153
特別損益、特殊要因(*4)除き	1,576	1,182	Δ 394	< Δ25.0>	Δ 387
EBITDA (特別損益除き)	2,667	2,134	Δ 533	< Δ20.0>	
EPS	172円	152円	Δ 20円	< Δ11.7>	
特別損益、特殊要因(*4)除き	200円	150円	Δ 50円	< Δ25.0>	
為替レート					
USD	80円	80円	Δ 0円		
EUR	114円	101円	Δ 13円		

\*1:売上総利益に係る特殊要因: 企業買収に起因する棚卸資産のステップアップ(時価評価による増加部分)の費用化

\*2:一般管理販売費に係る特殊要因: 企業買収などに起因する無形固定資産償却費、のれん償却費

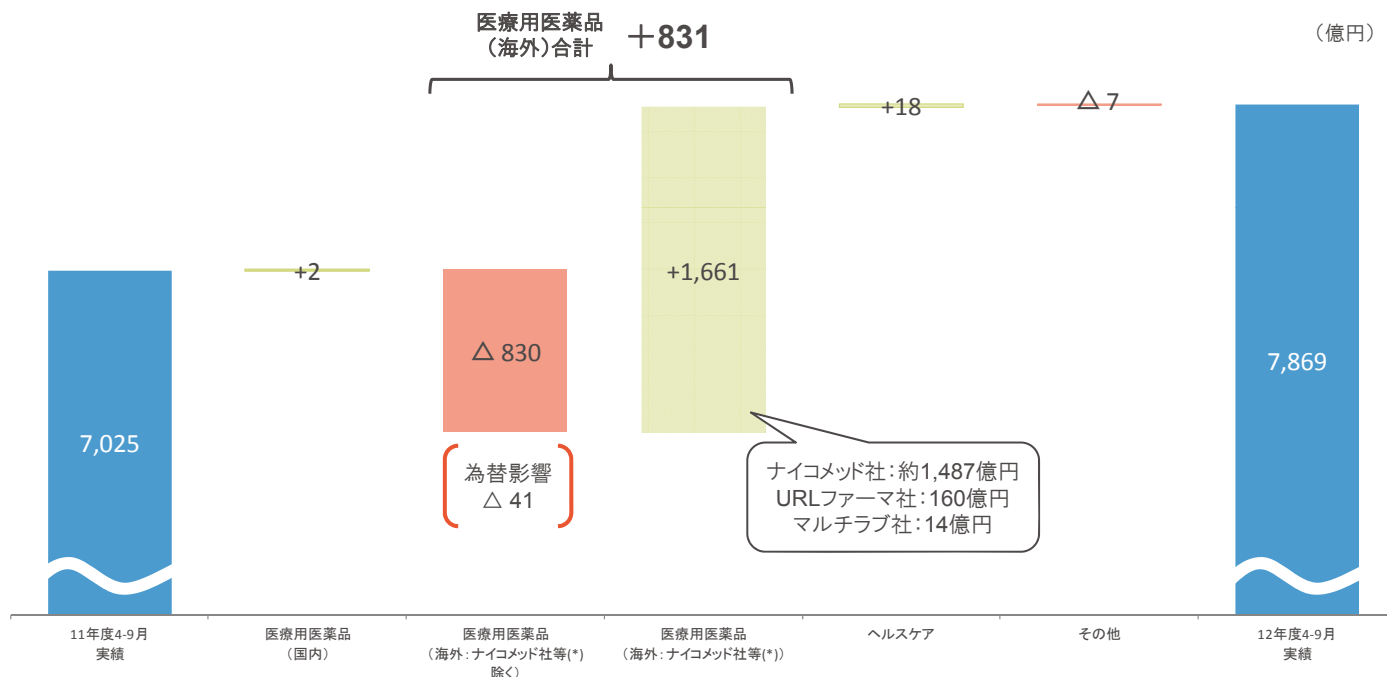
\*3:営業利益に係る特殊要因: \*1および\*2

\*4:純利益、EPSIに係る特殊要因: \*1、\*2に加え、企業買収に起因する営業外費用、移転価格税制に係る還付税金

# 売上高の増減内訳【セグメント別】



医療用医薬品(海外)合計は831億円の増収。  
 ナイコメッド社などの買収による増収効果は約1,661億円。

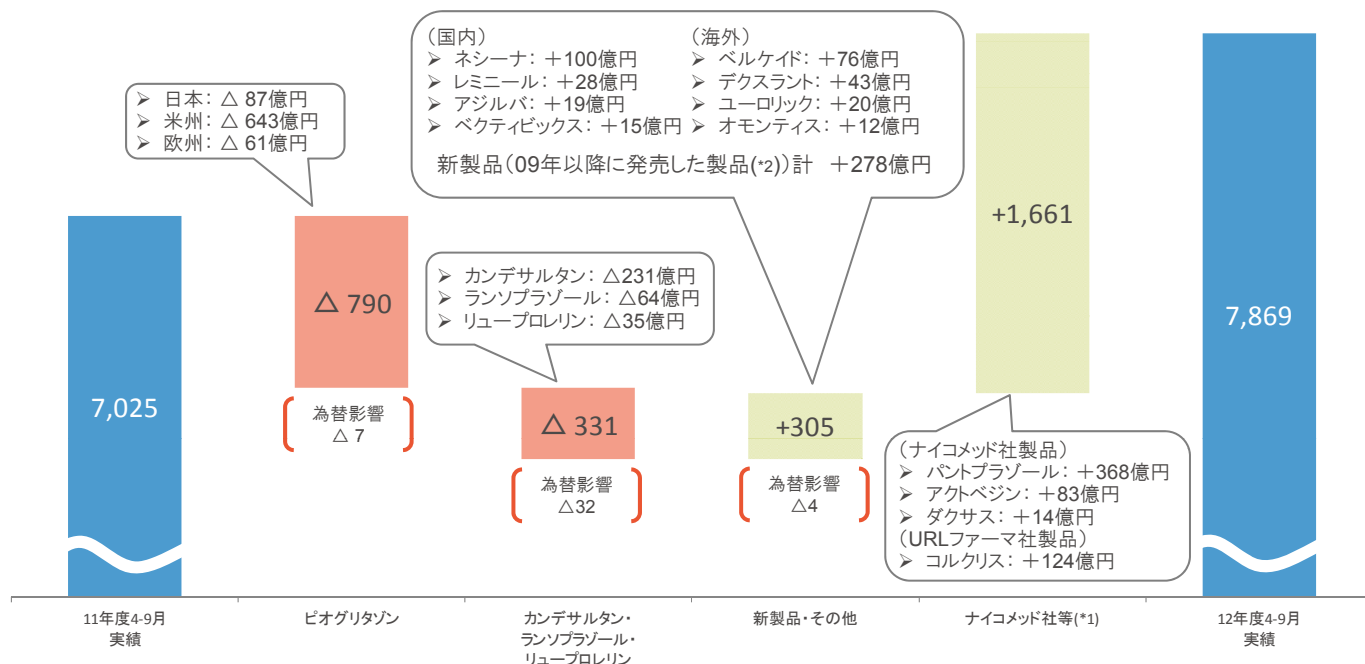


\* 2011年度以降に買収したナイコメッド社、URLファーマ社、マルチラブ社による増収効果(なお、ナイコメッド社に係る同効果の金額は概算)。

# 売上高の増減内訳【品目別】



ピオグリタゾン、カンデサルタンなどの成熟品の減収を、ネシーナをはじめとする新製品やベルケイドの伸長、及びナイコメッド社などの買収効果によりカバーし増収。

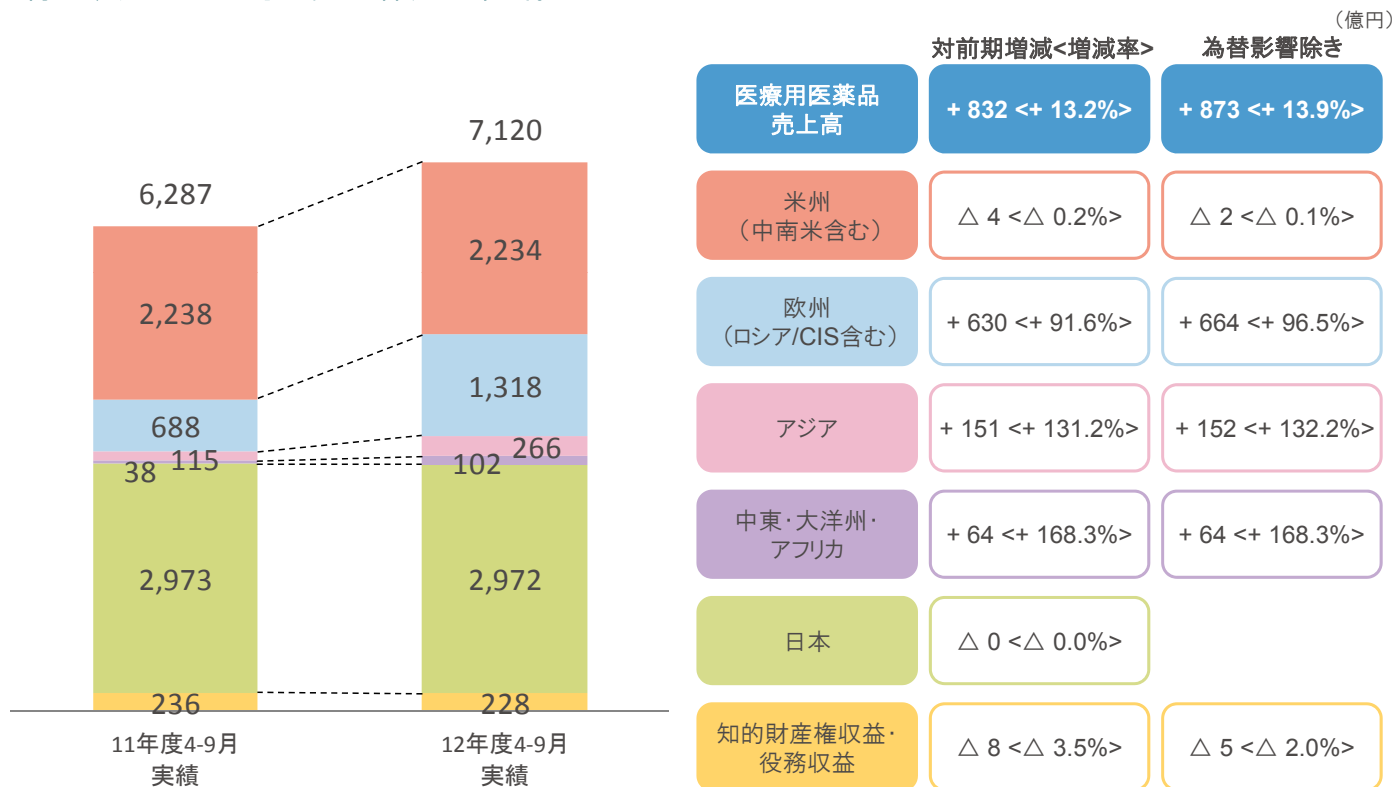


\*1: 2011年度以降に買収したナイコメッド社、URLファーマ社、マルチラブ社による増収効果(なお、ナイコメッド社に係る同効果の金額は概算)。  
 \*2: 新製品のうち、既存品との合剤・剤型変更は除く。

# 医療用医薬品売上高【地域別】



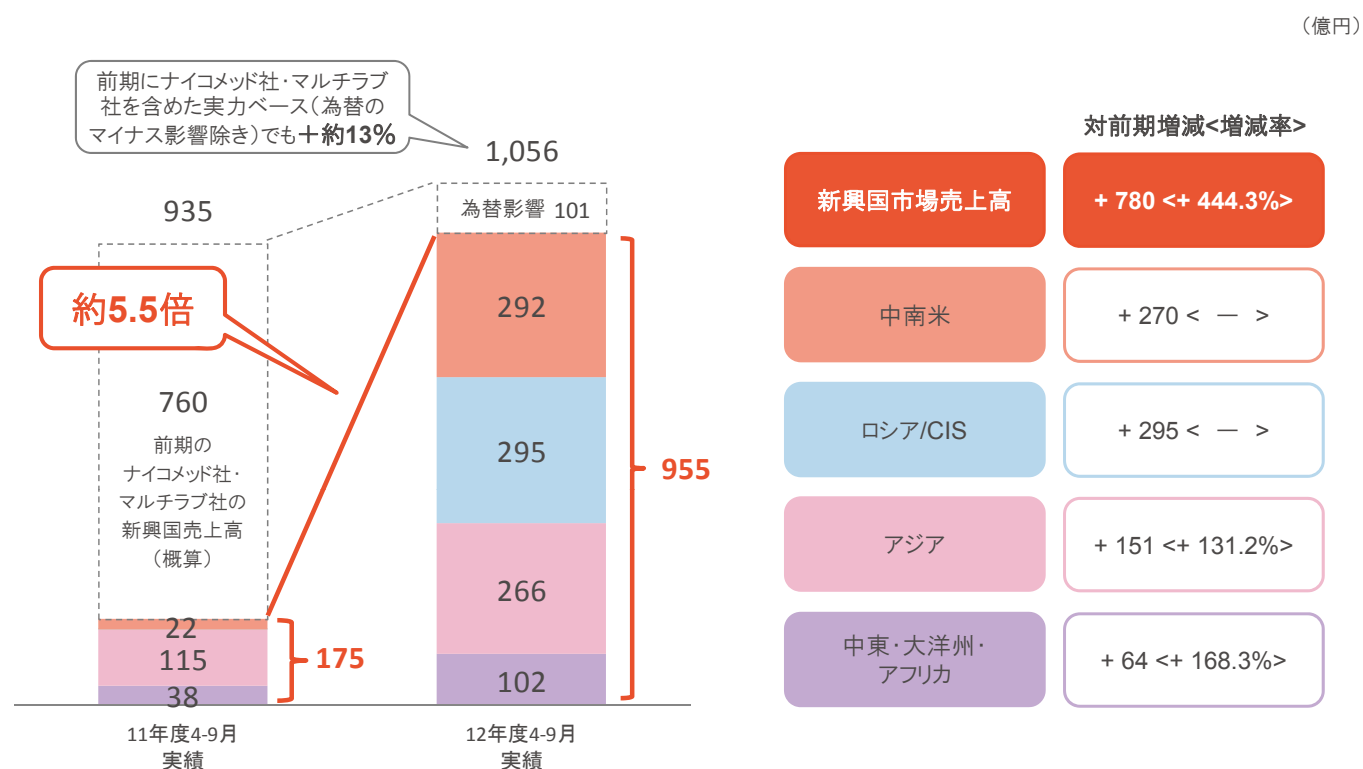
特に欧州・アジア等が売上伸長を牽引。



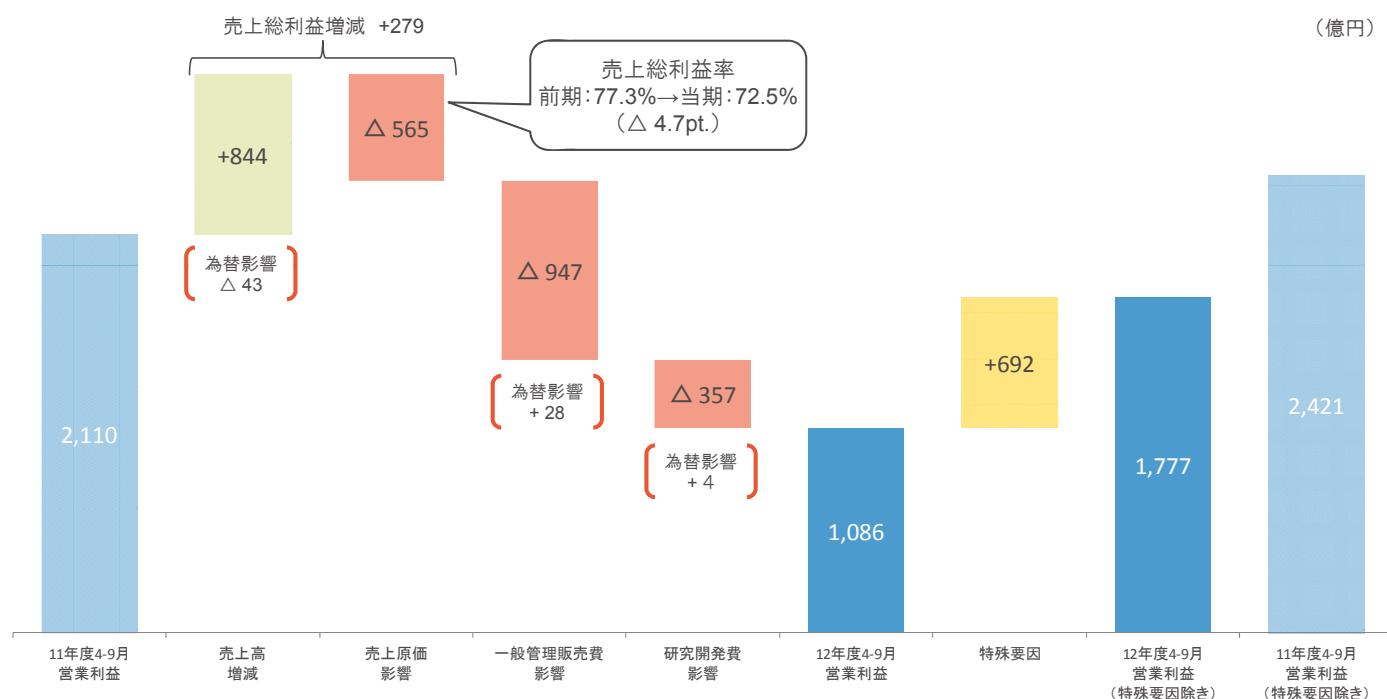
# 医療用医薬品売上高【新興国市場】



ナイコメッド社・マルチラブ社の買収により新興国市場での売上高は約5.5倍と大幅に伸長。

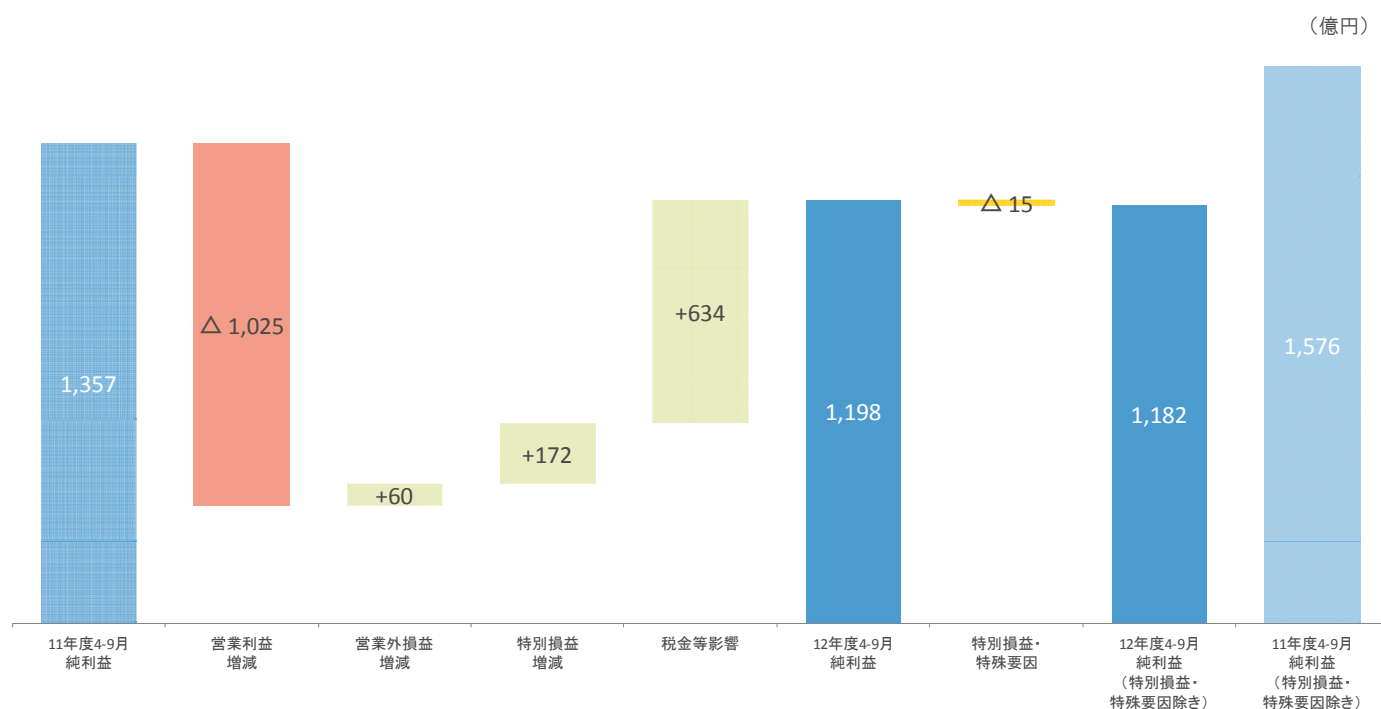


# 営業利益の増減内訳



- ▶ 一般管理販売費の増加(損) 947億円:買収に伴う発生費用の増加や、のれん・無形固定資産償却費の増加
- ▶ 研究開発費の増加(損) 357億円:開発後期のパイプラインを中心とした開発費の増加

# 純利益の増減内訳



- ▶ 特別損益の増益 +172億円:投資有価証券の売却益170億円、移転価格税制に係る法人税等の還付加算金(益)116億円、海外子会社の事業構造再編費用(損)114億円
- ▶ 税金等の減少(益)634億円:移転価格税制に係る還付税金(益)456億円

# キャッシュフローの状況



	11年度 4-9月実績 (億円)	12年度 4-9月実績 (億円)	(参考)11年度 4-3月実績 (億円)
<b>営業活動によるCF</b>	1,617	1,804	3,366
税金等調整前当期純利益	2,096	1,303	2,525
減価償却費(無形固定資産償却費を含む)	499	803	1,280
のれん償却費	66	161	222
運転資金増減	△140	△92	647
法人税等の支払額(12年度は移転価格税制に係る還付税金を含む)	△795	143	△1,521
<b>投資活動によるCF</b>	△10,607	△1,302	△10,940
有形固定資産の取得による支出	△250	△444	△619
子会社株式の取得による支出	△10,296	△775	△10,400
<b>財務活動によるCF</b>	4,970	△779	3,938
短期借入金の純増減額	5,698	△2,432	2,398
社債の発行による収入	—	2,380	1,896
配当金の支払額	△710	△711	△1,420
<b>現金及び現金同等物にかかる換算差額</b>	△660	△171	△549
<b>当期のCF</b>	△4,680	△449	△4,185
<b>現金及び現金同等物期末残高</b>	4,047	4,094	4,542

引き続き3,000億円レベルの研究開発投資を維持した上で、着実に負債を返済し、安定的な配当方針を維持。

# 2012年度 連結業績【対公表予想】



	公表予想(7月)		実績		対公表予想増減	
	上期 ① (億円)	年間 (億円)	上期 ② (億円)	③=②-① (億円)	③/① <%>	
<b>売上高</b>	7,800	15,500	7,869	+69	<+0.9>	
<b>研究開発費</b>	1,400	3,100	1,547	+147	<+10.5>	
<b>営業利益</b>	1,000	1,600	1,086	+86	<+8.6>	
特殊要因(*1)除き	1,700	3,050	1,777	+77	<+4.5>	
<b>経常利益</b>	950	1,500	1,131	+181	<+19.1>	
<b>特別損益</b>	200	550	172	△28	<△13.9>	
<b>純利益</b>	1,050	1,550	1,198	+148	<+14.1>	
特別損益、特殊要因(*2)除き	1,050	1,900	1,182	+132	<+12.6>	
<b>EBITDA(特別損益除き)</b>	1,940	3,450	2,134	+194	<+10.0>	
<b>EPS</b>	133円	196円	152円	19円	<+14.1>	
特別損益、特殊要因(*2)除き	133円	241円	150円	17円	<+12.6>	
為替レート	USD	80円	80円	△0円		
	EUR	101円	100円	+0円		

\*1: 営業利益に係る特殊要因: 企業買収などに起因する無形固定資産償却費、のれん償却費および棚卸資産のステップアップ(時価評価による増加部分)の費用化  
\*2: 純利益、EPSに係る特殊要因: \*1に加え、企業買収に起因する営業外費用、移転価格税制に係る還付税金

# 2012年度 連結業績の見通し



連結業績の見通しは、売上高について品目別には増減あるものの、全体としては7月公表と変更なし。

➢ 国内ネシーナ・タケブロン、米国のユーロリック・デクスラントの減少影響を、米国アクス・ベルケイド、国内アジルバ、ヘルスケア事業の伸長によってカバーし、当初公表の売上高を達成する見込み。

	11年度	12年度		対前期増減	
	年間実績 (億円)	上期実績 (億円)	年間予想 (億円)	年間 (億円) <%>	
売上高	15,089	7,869	15,500	+ 411	< +2.7>
研究開発費	2,819	1,547	3,100	+ 281	< +10.0>
営業利益	2,650	1,086	1,600	△ 1,050	< △39.6>
特殊要因(*1)除き	4,145	1,777	3,050	△ 1,095	< △26.4>
経常利益	2,703	1,131	1,500	△ 1,203	< △44.5>
特別損益	△ 179	172	550	+ 729	—
純利益	1,242	1,198	1,550	+ 308	< +24.8>
特別損益、特殊要因(*2)除き	2,482	1,182	1,900	△ 582	< △23.4>
EBITDA (特別損益除き)	4,226	2,134	3,450	△ 776	< △18.4>
EPS	157円	152円	196円	+ 39円	< +24.8>
特別損益、特殊要因(*2)除き	314円	150円	241円	△ 74円	< △23.4>
為替レート	USD	79円	80円	+ 1円	
	EUR	109円	101円	△ 9円	

参考: 為替レート 1円変動影響	12年度(億円)	
	USD	EUR
売上高	44	40
営業利益	△9	0
純利益	△1	△1

\*1: 営業利益に係る特殊要因: 企業買収などに起因する無形固定資産償却費、のれん償却費および棚卸資産のステップアップ(時価評価による増加部分)の費用化

\*2: 純利益、EPSIに係る特殊要因: \*1に加え、企業買収に起因する営業外費用、移転価格税制に係る還付税金



# Appendix

# 特殊要因・特別損益の内訳



(億円)

特殊要因・特別損益の内訳	11年度 4-9月実績	12年度 4-9月実績
<b>&lt;売上原価&gt; 棚卸資産のステップアップの費用化</b>	—	22
URLファーマ社・マルチラブ社買収	—	22
<b>&lt;一般管理販売費&gt; 無形固定資産償却費</b>	244	508
TAP社統合	50	50
ミレニウム社買収	189	189
ナイコメッド社買収	—	228
URLファーマ社買収	—	37
<b>&lt;一般管理販売費&gt; のれん償却費</b>	66	161
ミレニウム社買収	60	61
ナイコメッド社買収	—	88
URLファーマ社買収	—	7
<b>特殊要因が営業利益に与える影響</b>	310	692
<b>&lt;営業外費用&gt; 企業買収に起因する営業外費用</b>	—	23
<b>&lt;特別損益&gt;</b>	—	△ 172
投資有価証券売却益	—	△ 170
海外子会社における合理化費用	—	114
移転価格税制に係る還付加算金	—	△ 116
<b>特殊要因・特別損益が税金等調整前四半期純利益に与える影響</b>	310	542
上記に係る税金・税効果影響	△ 91	△ 101
移転価格税制に係る還付税金	—	△ 456
<b>特殊要因・特別損益が四半期純利益に与える影響</b>	220	△ 15

ダクサスは  
2021年まで

2012年まで償却  
2018年まで償却  
2026年まで償却  
2030年まで償却  
2028年まで償却  
2031年まで償却  
2028年まで償却

コルクリスは  
2029年まで

うちナイコメッド社:315

# EBITDAの内訳



(億円)

EBITDAの内訳	11年度 4-9月実績	12年度 4-9月実績
<b>経常利益</b>	<b>2,096</b>	<b>1,131</b>
+ 営業利益の特殊要因：無形固定資産償却費	244	508
+ 営業利益の特殊要因：のれん償却費	66	161
+ 減価償却費(特殊要因除き)	255	296
+ 支払利息	6	15
+ その他	—	23
<b>EBITDA(特別損益除き)</b>	<b>2,667</b>	<b>2,134</b>



# 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



武田薬品工業株式会社